

発言No.

6

受付No.

18

令和 年 月 日
時 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番 氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者 (○をつける) (市長) 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 介護予防について

(1) 介護予防日常生活支援総合事業について

- ①平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業がスタートしました。それまで行われていたミニデイサービスが廃止となり、緩和型のデイサービスや各地域で住民主体のサロン活動が行われていますが、現在の緩和型デイサービスの実施事業者数と、把握されているサロンの数、その中で活動休止になっているサロン数を伺います。
- ②ふくっぴーサロンが今年度で終わると伺いました。この取組は浜田地域に限られていると思いますが、改めて浜田地域に限定された理由について伺います。
- ③ふくっぴーサロン終了後、それに代わる取組をどのように進められるのか伺います。
- ④総合事業スタート当時から、サロン会場までの移動手段の課題によって、参加者が限られるとの心配がありました。これまで予約型乗合タクシーの活用も提案いたしましたが、現在進められているあいのリタクシーの活用にも期待しております。現在の活用の有無と、今後の活用の可能性について伺います。
- ⑤様々な組織で後継者の不足が指摘されています。地域のサロンについても今後、中心となって運営して下さる人材確保が厳しくなるものと推察しますが、市としてどのように支援されるのか伺います。

(2) 生活支援コーディネーターについて

- ①総合事業がスタートし生活支援コーディネーターが配置されました。事業が始まる前の浜っ子タイムズでは、「地域の高齢者サロンや地域活動を行う人たちと接することで情

報を共有し、地域の実情に応じた生活支援を考えていく。従来の社会保障制度の取組と大きく異なるもので、むしろこれは、まちづくり・地域づくりの取組ともいえる。このような取組で介護がなるべく必要のない社会を作っていこうと考えている」と説明されていました。コーディネーターの皆さんは、新たな取組の中で悩みながら進めてくださったと伺っていますが、市としてどのように評価しているのか伺います。

②この生活支援コーディネーターの配置について、今後の進め方を伺います。

2. 出産・子育て応援交付金事業について

国は、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備のための事業として、出産・子育て応援交付金事業を創設することとしております。市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届時から妊婦や0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、面談や継続的な情報発信等により、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援の充実を図るとともに、出産・育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減のための経済的支援が実施されます。

(1) 経済的支援と伴走型支援について

①妊娠届出時と出産届出時の面談を終えた後に、それぞれ5万円ずつ合計で10万円の支援を行うものですが、浜田市ではすでに新生児子育て応援金が支給されております。この事業に上乗せするのか、別のサービス等に使えるものにするのか伺います。

②今回の事業で国が重視しているのが、伴走型の相談支援ということであります。妊娠・出産の届出時の面談はもちろんのこと、その間や育児期まで継続的な相談支援のために、SNSやアプリを活用したオンラインの面談や相談、プッシュ型の情報発信、随時相談の実施が推奨されています。浜田市ではすでにアプリが導入されていますので、いち早く取り組むことができると期待しておりますが、ご所見を伺います。

③伴走型相談支援の実施主体は市町村となっておりますが、民間への委託も可能とされています。浜田市として民間活用の考え方を伺います。

3. 防災・減災について

(1) 防災講演会について

11月12日に本庁と各地域をつないで防災講演会が行われました。あらためて防災・減災に

ついて確認させていただきましたので、いくつか確認を含め質問させていただきます。

- ①この講演会の参加対象とされた団体名および参加団体数と人数。そして、参加対象団体数に対する参加率を伺います。
- ②自助・共助が重要だと言われますが、住民の多くは普段から災害時の自助についての対策が取られていないため、大規模災害時の共助もできないのだとの指摘がありました。防災出前講座でマイタイムラインの活用なども訴えていただいておりますが、作成に至っていない現状もあると思います。作ってもらう・確認してもらうことが必要と考えますが、その対策をどのように進められているか伺います。
- ③講演会の中で認識を新たにされたのが、防災の基本となる「予防と被害抑止」ということです。どうしても訓練に目が向きがちですが、自分の身を守るために第一に必要な対策が進んでいないと考えます。今後の総合防災訓練の内容のひとつにこの観点をしっかりと示すべきと考えますが、今後の対応を伺います。